

プラエド通信

<発行者>
認定NPO法人 プラス・エデュケート
理事長 森 顕子

理事長挨拶

理事長
森 顕子



春のやわらかな日差しを感じる季節となりました。

会員の皆様には、日頃より温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、2月に行われた選挙を経て、高市政権が掲げる「秩序ある共生社会」という言葉は、私たちの現場にも少なからず影響を与えつつあるように感じています。異なる背景をもつ人々とどのように共に生きていくのかという問いが、これまで以上に社会全体で共有されつつあると言えるでしょう。政府は外国人政策の基本方針である「総合的対応策」の中で、在留外国人が日本語や制度・ルールを学ぶプログラムを創設し、永住許可や在留審査において考慮する方針を示しています。この点については、社会の一員として安心して暮らしていくための基盤づくりとして、一定の意義があると考えています。特に「子ども」にとっては、早い段階から日本語を体系的に学ぶ機会が保障されることが極めて重要です。私たちがこれまで関わってきた1,500人を超える子どもたちの中には、すでに社会人として活躍し、家庭を築いている教え子も多くいます。

彼らは、日本語を身につけ、ルールや文化を理解し、努力を重ねることで、自らの可能性を切り拓いてきました。だからこそ、これから子どもたちにも、言葉や制度の壁によって孤立することなく、学校や地域の中で安心して成長できる環境が必要です。私たちは今後も、新たに来日する子どもや新しく生まれてくる命に真摯に向き合い、学びと居場所の両面から支援を続けてまいります。日本語教育は、単なる言語習得にとどまらず、社会とつながり、自らの未来を切り拓くための基盤です。今年度も現場の実践を大切にしながら、皆様とともに歩んでまいります。

引き続きのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

千葉県立高等学校での日本語初期指導モデル事業

先日、千葉県の『県立高等学校での日本語初期指導モデル事業』についての事業報告を終えました。昨年度は、アセスメントテスト（日本語力評価テストのこと）と研修動画の作成、オンラインでの日本語指導を任せられ、日本語指導をした生徒は県内6校27名となりました。高校生への指導は、少し不安を感じてのスタートでしたが、スタッフはもちろんのこと、生徒たちもみな前向きに一生懸命取り組んでくれました。

指導後のアンケート結果を見ると「授業が楽しい」と答えてくれた生徒は、全員で100%。授業レベルについても「簡単だ」という回答は14%でしたが「いい」という回答は81%であり、おおむね満足いただけたようです。また、指導後のテストでも、ほぼ全員の日本語力が向上していましたし、さらに自由記述欄では「先生の授業はとても楽しくて、毎回のレッスンがとても楽しみでした。多くのことを学べて本当に嬉しいです」というような感謝の言葉をいくつもいただきました。さらに、在籍校の先生方からも「笑顔がみられるようになった」「簡単なやりとりができるようになった」などの感想をいただくことができました。そのおかげか、今年度も千葉県からは同様の事業の委託が決定いたしました。今年度は、オンラインでの指導に加え、教員研修や教材の提供なども含まれます。昨年度以上に、お役にたてるよう頑張っております。



「三分間の想い」

授業最終日、私は生徒たちに「この日本語の勉強はどうでしたか」と問いかけました。担当した4名の生徒は、それぞれに感想を語ってくれました。中でも印象的だったのは、どうしても最後に話したいと申し出たAさんです。彼女は感想を携帯電話で翻訳し、約3分にも及ぶメッセージとして伝えてくれました。3分間というのは決して短くありません。それを一生懸命に読み上げる姿は、胸を打つものがありました。また、別のDさんは、感想を述べる中で思わず涙をこぼしていました。わずか半年、週に3時間の関わりではありましたが、彼女たちとの出会いは、私にとって非常に印象深いものとなりました。彼女たちのこれからの、心から「幸あれ」と願っています。(小島恭子)

放課後学習支援<小学校卒業編>

～笑顔と中学生への自覚～

3月、8名の小学6年生が、輝かしい門出の日を迎えました。昨年末に開催した「中学校説明会・進路相談会」では、進学に向けた準備について詳しくお伝えしました。保護者の皆様からは「初めて知る情報が多く、事前に準備ができて安心した」というお言葉をいただき、良かったです。制服の採寸を終えたことを、はにかみながらも嬉しそうに報告してくれる子どもたちの笑顔は、希望に満ち溢れていて本当に素敵でした。教室の授業では、進学への自覚が芽生えるにつれ、その表情は真剣そのものに。一步步、しかし確実に頼もしく成長していく姿を間近で見守ることができ、心からの喜びを感じています。



放課後学習支援<中学校卒業編>

～「進むべき道」を見つける～

中学生たちもそれぞれの目標を胸に卒業の日を迎えました。「言葉の壁」や「環境の変化」という大きな壁を乗り越え、自分自身の力で未来を切り拓こうとする彼らに、将来の夢と高校生活への抱負を聞きました。



【フィリピン国籍 J君】

私の夢は、エンジニアや料理人、そして通訳になることです。父の背中を見て車の修理に興味を持ち、今は家族の夕飯作りも頑張っています。将来は自分の店を持つたり、多言語を活かして人を助けたいです。高校では部活や委員会に挑戦し、夢に向かって頑張ります！



【ベトナム国籍 Hさん】

将来は、絵に関わる仕事がしたいです。小学生の頃から服やキャラクターを描くのが大好きでした。今はデッサンやSNSへの投稿を頑張っています。将来は、自分の絵をグッズや広告にしたいです。高校では英語の勉強を頑張り、マンガ甲子園での活躍を目指します！



【ブラジル国籍 Cさん】

私の将来の夢は、パティシエやブライダル美容師など、人の役に立つ仕事をすることです。人が喜び姿を見ると、私自身も元気になります。夢のために勉強や得意な料理、編み物を頑張っています。高校では柔道で県大会優勝を目指し、心も体も磨いていきたいです！



【ベトナム国籍 Rさん】

夢は、家やインテリアのデザインをすることです。素敵なお建物を見てやってみたいと思いました。今は数学の勉強などを頑張っています。将来は、便利で楽しく暮らせる家を作りたいです。高校では勉強もボランティアも頑張り、イラストでも賞を取りたいです。



【ブラジル国籍 Aさん】

私の夢は美容師です。自分で髪を切った時、スッキリして嬉しかったからです。将来は世界中で人の髪を切り、お金を貯めて家族と旅行に行くのが目標です。高校では勉強の基礎を固め、フォトスタジオのバイトにも挑戦したいです！



【フィリピン国籍 Kさん】

父がポルトガル語を話す姿に憧れ、通訳になるのが私の夢です。世界中の人と仲良くなり、将来は日本で言葉がわからず困っている外国の方を助けたいです。高校では弓道部に挑戦し、勉強でも成績上位を目指して精一杯頑張ります！



【ベラルーシ国籍 Sさん】 オンラインで4年間学習しました。

来日当初の不安だったコミュニケーション能力がぐんと上がりました。先生たちに優しく教わりながら、日本語でたくさん話し、一緒に宿題をしたおかげで、今では日本人と会話ができるようになりました。オンライン授業はリラックスして集中できるのが魅力でした。高校ではアルバイトやおしゃれなど、憧れの「JK生活」を全力で楽しみたいです！



放課後学習支援<高校卒業編>

～自分の道を、自分の足で～

支援の場がなく進学を諦めた知人もいる中、両親も「ここがなければ今の息子はなかった」と感謝しています。家族と先生方の導きがあったからこそ、無事に高校を卒業できました。(ブラジル国籍M君)



卒業後は、アルバイトをしながら世界中を旅して各国の文化を学ぶのが私の夢です。そのために英検やスペイン語検定、PC関連など多くの資格取得に励んでいます。中学・高校時代に悩み、高校を辞めようと思った時も、ブラエドの先生たちは私の事情を全て理解して寄り添ってくれました。先生たちが私を支えてくれたから、今の前向きな自分があります。(ブラジル国籍Aさん)



大学で教員免許や日商簿記、ITパスポートの取得、そして留学に挑戦しながら、将来の夢を見つけたいです。

高校時代は悩むこともありましたが、ブラエドで日本語力と対話力が向上し、自信がつけました。ここで得た力を糧に、大学生活を全力で楽しみたいです。(ブラジル国籍I君)



放課後学習支援〈野外活動編〉

～笑顔が溢れた野外活動～



雲一つない快晴に恵まれ、小学生から高校生、そしてスタッフら総勢56名で野外活動を行いました。バスの車内は、目的地へのワクワク感に包まれ、しりとりや賑やかな会話を楽しむ中で、学年の垣根を越えて自然と心の距離が縮まっていく温かい時間となりました。現地での「焼きそば作り」では、教室での学習風景とは違う、子どもたちの頼もしい姿が次々と光りました。普段はおとなしい子が鮮やかな包丁さばきを披露して周囲を驚かせたり、調理の主役としてテキパキと指示を出して動いたり、一人ひとりの意外な一面や個性を再発見することができました。また、元気いっぱいのアスレチックへと何度も挑む低学年のバフフルな姿には、見守る大人たちも大きなパワーをもらいました。この日見せてくれた生き生きとした表情を、これからの学習支援の中でも引き出し、支えていきたいと思ひます。



豊明市日本語初期指導

～二度目の巣立ち～

今回は、一度初期指導を終え、学校生活を経験した子どもたちが再び集まり「学び直し」を行いました。久々に再会した教室では、以前より背が伸び、少し大人びた表情をした子どもたちの姿がとても印象的でした。何より変わったのは「**自分の思いを伝えたい**」という強い意欲でした。日本語を一部忘れかけていても、言葉を探しながら一生懸命に伝えようとする姿からは、現場での悔しさや困りごとを乗り越えようとする力強さが伝わってきました。最後の授業では、好きな動物をタブレットで調べ、自分の言葉で堂々と発表できました。



改めて基礎を学び直し、実践の場を経験したからこそ、今回の学びはより深いものとなりました。二度目の巣立ちを迎えた子どもたちの、今年度のさらなる飛躍を心から楽しみにしています。

碧南市日本語初期指導

～新聞から「自分の言葉」を見つける～

「新聞切り抜き作品コンクール」に応募した作品「全て」が奨励賞をいただきました。9作品14名の子どもがチャレンジしました。参加する意義は大きく、ゼロから学んだ日本語を使って、自分の考えを表現することにあります。記事選びやまとめは日本語力が低い子には難しいのですが、実は、すばらしい記事は子どもに言いたいことを助けてくれます。記事を使うことで、「言いたかったこと」「分かってほしかったこと」が相手に伝わることになるからです。その時のうれしそうなお顔といったらありません。強い動物の写真ばかりを選んでいる子も、記事をよく読んでみると、高齢のライオンのお話で、その年齢に驚いたり、別の子は、初めはサッカー記事の表面的な分け方でしたが、記事を読むうちに、外国人が日本で取り組む活動をメインにしたいと言い出し、自分と同じ境遇の記事から、期待を膨らませたりしていました。お互いに作品を見て自然と質問している姿には、成長を感じ幸せな気持ちになりました。



半田市日本語初期指導

～ゴミの分別から社会を学ぶ～

ゴミ出しのルールは複雑で、地域で問題になりがちです。そこで分別の仕方を正しく知ってもらうため、ゴミの分別をテーマにした授業を行いました。

「街がゴミだらけになったら？」という問いに子どもたちは真剣な表情。汚れた海や動物の写真を通じ、環境を守る大切さを実感したようです。

低学年の子も、ペットボトルがカバンに再生されることに驚き、宝探し感覚で「リサイクルマーク」を探すなど、楽しみながら学びました。最後は市指定の袋を使い実際に仕分けを体験しました。自ら考え、取り組む姿が見られました。これで今日から、おうちでも「分別の達人」として、家族をしっかりと手伝いできるはず(!?)です。社会につながる体験ができた一日でした。



名古屋市初期日本語指導

～「毎日」の頑張りが実を結ぶ～

今年度受け入れた33名のうち、3名の中学3年生全員が高校に合格し、進学が決まりました！

実は第3タームに参加した中学3年生の1人は、入試前日に発熱で授業を欠席していました。欠席連絡の際に「明日の入試、大丈夫？」「…まだ熱があるから、わかりません。」という会話をしたため、とても心配をしていたのですが、無事に入試を受けることができ、合格も決まり安堵しました。また、第1タームに参加し、7月に初期日本語集中教室を卒業した生徒も高校進学が決まったと連絡がありました。面接や作文の練習をととても頑張ったようで、卒業後も努力を重ねた結果となりました。昨年度、初期日本語集中教室に参加した生徒の高校合格の話も聞くこともできました。教室で日本語を学習し、卒業後も努力を続けたことで将来に結び付いたと思ひます。

新しいステージへと羽ばたく子どもたちの今後の活躍が楽しみです。



日本語指導者育成事業（FOR+）

【FOR+】は2年目を迎え、2025年度も多くの方にご参加いただきました。その振り返りとして、ゼミ生の皆さまにアンケートを実施しました。今回は数字でFOR+をご紹介します。

【お役立ち度】

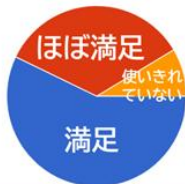
教え方動画	★★★★★ 4.5	Q&A掲示板	★★★★★ 4.1
教材	★★★★★ 4.2	相談会	★★★★★ 3.6
プチセミナー	★★★★★ 4.3	ワークショップ	★★★★★ 4.7

FOR+ゼミの満足度が私たちの想像より高い結果となり、嬉しく思うとともに、身の引きしめる思いです。今年度は、より皆さまのお役に立てる内容へと進化してまいります。今後の展開にどうぞご期待ください。

★★ 新規ゼミ生募集中です！ ★★



【満足度】

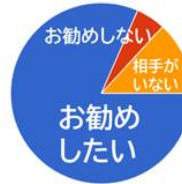


ほぼ満足以上：91.4%

【理由】

- ・実践的な内容だから (71.4%)
- ・すぐに活用できる (54.3%)
- ・他の人の質問内容が参考にできる (48.6%)
- ・疑問が解消できる (42.9%)

【お勧め度】



お勧めしたい：81.6%

【理由】

- ・教え方が学べるから (93.8%)
- ・教材が入手できるから (75%)
- ・悩みが解決できるから (46.9%)
- ・仲間ができるから (56.3%)

受託報告

これまでの実績が評価され、2025年度に続き、今年度も豊明市、碧南市、名古屋市、半田市、千葉県の各自治体より継続して事業を受託いたしました。以下3つの自治体とは、新たに契約を結びました。

■ 名古屋市（今年度から3年間）

昨年度の1教室から2教室へと規模が拡大したほか、夜間中学校である「なごやか中学校」での指導も始まります。今年度の受入人数は、小学校1年生から夜間中学在籍生徒まで、各教室で最多となる年間95名を見込んでいます。

■ 碧南市（今年度から2年間）

今年度からは従来の児童館での指導から、学校内の拠点校での指導へと移行いたします。これにより、学校現場や担任の先生方との連携がこれまで以上にスムーズになり、子どもたちにきめ細やかなサポートが可能となります。

■ 千葉県（1年間）

これまでの日本語初期指導に加え、今年度は「教材作成」「教員研修」も受託内容に含まれます。

子どもたちへの「お裾分け」

「子どもたちに」と、NPO法人ボラみみより情報局様、(株)名古屋エコール様より、文房具や雑貨のご寄付をいただきました。こうした「お裾分け」の温かいお気持ちが、子どもたちの支えになっています。これらは、日頃から頑張っている子どもたちへ、大切に渡していきたいと思えます。素敵な贈り物を、本当にありがとうございました！



子どもたちの未来を広げる、ご支援の力

皆様からのご寄付や会費は、子どもたちの日本語指導の質の向上、そして子どもたち一人ひとりに寄り添うための大切な力となっています。支えてくださる皆様の想いを胸に、私たちはこれからも歩みを進めてまいります。

【支援者】

坂本ドネイション・ファウンデーション(株)、(財)ホシザキ新星財団、(株)ホームカラクト、名古屋国際観光バス(株)、(株)買取王国、フリック(株)、(株)ピー・ブレイス、(株)豊明交通、Home&nico安井建設(株)、社会保険労務士法人絆、(有)加門工業所、ソフトバンクつながる募金、個人支援者133名（順不同）



認定NPO法人プラス・エデュケート

〒470-1131 愛知県豊明市二村台3-1-1 豊明団地55棟107号

✉ plus_educate@yahoo.co.jp 🌐 <https://www.plus-educate.org>



プラエド通信編集：中西 智子